

各 位

会社名 日本電産トーソク株式会社
 代表者名 代表取締役社長 村田 薫
 (コード番号 : 7728 東証第一部)
 問合せ先 経 理 部 長 丹野 光好
 (TEL 046-252-3112)
 当社の親会社 日本電産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 永守 重信
 (コード番号 : 6594 東証・大証第一部)

半導体製造装置事業の廃止に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 9 月 28 日の取締役会において、平成 21 年 9 月 30 日をもって半導体製造装置事業を廃止することを決議致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 事業廃止の理由

当社グループでは、ディスクリート分野を中心に全自動ダイボンダ・オプトデバイス用ダイボンダ等の半導体製造装置事業を展開してまいりましたが、半導体価格の下落や半導体メーカーの設備投資抑制等の影響により半導体製造装置は価格・数量ともに厳しく事業の採算性が永らく低迷しており、業界の回復も不透明な状況になっております。当社グループでは半導体製造装置事業で培った人材・技術等の経営資源をより成長の見込まれる自動車部品事業と計測機器事業の新製品開発・製造に重点的に投下することが収益性の改善を図る **WPR™** 活動からも重要であると判断し、半導体製造装置事業の廃止を決定致しました。

2. 事業廃止の概要

(1) 半導体製造装置事業の内容

全自動ダイボンダ・オプトデバイス用ダイボンダ等の製造・販売

(2) 半導体製造装置事業の連結経営成績 (平成 21 年 3 月期 単位 : 百万円)

	半導体製造装置事業(a)	全事業合計(b)	比率(a/b)
売上高	2, 1 6 1	2 2, 9 8 1	9. 4 %
営業利益	△ 3 3 7	1, 3 1 8	—

(3) アフターサービス

お客様が使用されている当社半導体製造装置製品のアフターサービスは原則として継続致します。

(4) 半導体製造装置事業に属する従業員の取扱い

半導体製造装置事業の従業員は、自動車部品事業と計測機器事業を中心に成長分野へ振り向けて参ります。

3. 日程

事業廃止期日 平成 21 年 9 月 30 日

4. 今後の見通し

半導体製造装置事業の廃止に伴い、主に棚卸資産及び設備の廃却からなる特別損失を約 1 6 億円計上する見通しです。

平成 22 年 3 月期の業績見通しは、売上高は自動車部品事業等の好調でカバーし、営業利益・経常利益については **WPR™** 活動の効果も有り前回見込みから増加する見込みです。詳細は、本日別に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」の通りです。

尚、半導体製造装置事業の廃止と共に、平成 21 年 10 月 1 日より計測機器事業はシステム機器事業として新たなスタートを致します。

WPR は、2008 年に日本電産㈱の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。

WPR™ は、日本電産㈱の日本国における商標です。

WPR© 日本電産㈱ 永守重信 2008 年

以 上